

LPO

レッスン プラス ワン

Feb, 2003

47

ホームページ開設!

URL: <http://www.musenet.co.jp/lpo>

LPO編集室 : 〒174-0063 東京都板橋区前野町3-43-7 楽譜専門部 (株)松沢書店内 TEL : 03-5970-5917

Now
Printing

年少幼児の無理なく楽しいレッスンのために

ミッフィーのぴあの絵本 1〜3

いいだ まき
飯田 真樹

● 昨今のお稽古ごと事情と「ミッフィーのぴあの絵本」

「3歳、4歳はあたりまえ？」と思われるほどに、巷では各種の年少幼児向けの教室が次々に開設され、少子化と早期化が表裏一体で進んでいる今日このごろ。こと音楽、ピアノについてもそれは例外ではありません。

また一方で、習わせる側の意識の変化も顕著になってきています。目に見える成長がすぐに表れなかったり、子どもの意欲にちよつと蔭りが見えたりすると、即、レッスンから離れていってしまう……。子どもの意欲が低い指導者が子どものやる気を引き出せない、と考えられてしまうのです。

こうした「早期化」と「意欲や興味を持続させる」という現場の課題に答え、年少幼児への無理なく楽しいピアノレッスンの実現のために、ヤマハとブルーナの提携開発によって制作されたのが、この「ミッフィーのぴあの絵本」です。

● 「ミッフィーのぴあの絵本」の特長

「ミッフィーのぴあの絵本」は従来のピアノメソッドにはない次のような特長をもっています。

1. 「ピアノ」「個人レッスン」という切り口で年少幼児にアプローチが可能

3〜4歳の年齢に対応したメソッドや教育プログラムは、音感指導や歌・リズムといった切り口を含めたものが中心で、その多くは「ピアノの個人レッスン」という指導形態の中では機能しにくかったのですが、この「ミッフィーのぴあの絵本」は、「ピアノ個人レッスン」というスタイルの中で楽しくレッスンを展開していくことができます。

2. 既存のピアノメソッドに入る前の導入テキストとして最適

曲は1〜4小節の短い音楽フレーズ。読譜の指導が困難な年少幼児にも、絵本のイラストイメージと共に先生が弾いてみせ、興味を持った子どもがすぐにそれを真似をして弾く、といったスタイルで指導が可能です。また、テキストカリキュラムは全3巻を数ヶ月〜半年前後でマスターできるようになっていますので、

いたずらに遠回りをすることなく既刊の主要ピアノメソッドに意欲いっばいの状態で進むことができます。また、ピアノの心得のある保護者の方には、家庭でのピアノのてほどきにも格好のテキストです。

3. シンプルな中にも、豊かなイメージを育む素材がいっぱい
テキストに使われているイラストはすべてブルーナのオリジナルイラスト。絵本から飛び出したかわいいイラストたちが、見事に音楽素材とマッチし、豊かなイメージを創出しています。

● 「ミッフィーのぴあの絵本」各巻の内容

テキストは1〜3の合計3巻。それぞれのテキストにはかわいいサブタイトルがついています。

ミッフィーの ぴあの絵本1 ぴあのさん、 あそぼ!	片手で弾ける1〜2小節の短いフレーズで、ト音記号のド〜ソまでの音を順番に弾いていきます。 曲目:くらくしよん(黒鍵遊び)/とらんぼりん(の)/こつらん(のし)/どれみかなし(どれみ)/ジグザグあち(のし・ミ・レ)/やまびこ(ミ・レ)/おはなをそでてる(ド〜ランドミンの和音)/そーと(ド〜ソの和音)
ミッフィーの ぴあの絵本2 ぴあのさんと なかよし	左手と右手の交互奏を中心に、中央ハ音から上下に音域を広げ、ヘ音記号のソ(第4間)からト音記号のラ・シまでを使います。この巻を終了すると、バイエル、メードローズや中央ハ展開方式による既存の主要メソッド(グローパー、オルガンピアノの本等)に余裕をもって進むことができます。 曲目:きゅうきゅう(のうた)/よびりん(のうた)/びんぼん(のうた)/つなひき(のうた)/そー(のうた)/しほ(のうた)/ら(のうた)/ちやいむ(のうた)/まねっこ(のうた)
ミッフィーの ぴあの絵本3 ぴあのって たのしいね!	今までに習った音を使いながら、8分音符、装飾音、重音、分散和音伴奏を経験します。初歩の指のドリルとして、既存のメソッドとの併用も効果的です。この巻終了後には、バーナムピアノテクニック、フレ・ハンなど、より進んだ指のドリルへ学習を発展させることができます。 曲目:ちうすく(のうた)/なわとび(のうた)/かくれんぼ(のうた)/ぶらんこ(のうた)/みずあそび(装飾音)/れっしや(アッチェレランド)/やまびこ(重音の響きの経験)/おちば(レガート奏)/サイクリング(分散和音による伴奏)

各巻ともA4横判、32P、フルカラー仕様、800円(予定価格)となります。3月上〜中旬発売予定。

◆プロフィール

東京芸術大学作曲科及び同大学院修了。在学中より作曲活動の傍ら、幼児の合唱・音楽指導、幼児・大人のピアノ指導を行う。1989年より(財)ヤマハ音楽振興会・音楽指導スタッフとして、ヤマハ音楽教室におけるカリキュラム・教材・指導法開発に携わる。現在、(株)ヤマハミュージックメディアの制作プロデューサーとして、主に教育系のピアノ出版物の開発制作を行っている。



＊いま話題の本の著者にインタビューしました！

ピアノがうまくなる子、 ならない子

ベテラン指導者ならではの鋭い視点と、タイトルの強烈なインパクトから、昨年夏に出版されて以来、大きな反響を呼んでいる『ピアノがうまくなる子、ならない子』（池田陽子 さいとうみどり 共著、情報センター出版局 刊）。今回は著者の池田陽子先生・さいとうみどり先生に、出版のきっかけ、昨今のレッスン事情などについてお話をうかがいました。

◆やっぱり、親の心構えは必要です。

池田 もともと私たちは、音楽教室で講師の指導をしていたんです。そこでは「生徒が長くレッスンを続けられるには？」ということ、経営的にも音楽的にも考えなくてはいけない立場にありました。そういう中で、大人でも子どもでも、その人が伸びていくには、こうすればいいのでは？と感じていたことがずっとありました。

ただ、そういうことは先生同士では話していても、親には遠慮があつて話せなかったり、うまく伝わらないというもどかしさがありました。そうした中で、インターネットで音楽教育をするというプロジェクトに参加することになって、いろいろな話をしていくうちに、『こうすればピアノがうまくなる』という話を本にしてみませんか、ということになりました。

さいとう 私たちが子どもの頃は、「先生」という存在は今よりもっと威厳があつたように思いますし、親も「うちの子を願ひます」と、何もかもきちんと整えて連れ

て行っていた。だから、子どもにもそれなりの覚悟があつたように思います。でも今は、先生と親、そして子どもの間でそういう覚悟ができていない。例えば音楽教室の募集期なんかでは「〇〇ちゃんも行くから」「楽しそうだから」というふうに、勢いでドツと入ってしまう。だけど、いざ始めてみるとこんな大変だったんだ、ということからいろんな障害が出てきて、続かなくなってしまう。でも、もしも教師と親が協力して上手に誘導することができれば、その子はピアノをやることなうまくなくていけるかもしれないよ。だからやっぱり、「親の心構えは必要です」ということはきちんとお伝えしたいと思いました。

◆「厳しく優しく、優しく厳しく」

池田 とかく、レッス人がうまうまかなくなつた時は人のせいにしてしまいがちだけど、一番大事なのは、子どもにとって何が大切かということですよ。今回のこの本は、親がしっかりとなくてはという方向で書いたけれど、子どもにとつて一番影響力があるのは親だから、やっぱり親の心構えを書きたかった。

さいとう 先生方が生徒だった頃のレッスンと今のレッスンって、やはり違ってきているのでしょうか。厳しくなってきたり、優しくなってきたり、ということについて考えてみる必要があると思います。

あるピアニストの方がドイツに留学して初めてのレッスンの時、先生に「あなたと



●プロフィール(写真右より)

いけだ・ようこ
音楽教室のピアノ・電子オルガン・シンセサイザー・幼児教育・指導者育成等のクラスで、クラシック・ポピュラー音楽の指導者を務めると共に、演奏者としても活動する。その後、講師の指導・教育に携わる。

さいとう・みどり
広告代理店勤務を経て音楽教室講師となり、その後、同音楽教室の講師指導の職務に就く。この間、教育現場の視察を重ねて音楽教育のあり方を探求し、独自の幼児教育の指導法を確立、教材を作成する。

昨夏、共著『ピアノがうまくなる子、ならない子』（情報センター出版局 刊、1400円）を出版。また、現在インターネットによる音楽教育プロジェクト『ピアノを習おう.com』に参加。

◆『ピアノを習おう.com』ホームページ
<http://www.naraou.com/>

私は今日から手を組んで、音楽を一緒にやっていきましょう。二人でお互いに考えながら、あなたのピアノをよくしていきましょう。『教えるってこういうことだったのか』って、厳しいことはもちろんいいことなんです。必要以上にガーツと怒ることが厳しいことではないかもしれないし、やさしい口調でも、その内容はとても厳しいことだつてある。一方、「楽しくできますよ」と、楽しいだけの人もいる。それでは困ります。責任はちゃんと取らなくてはならない。「あなたは音大に行くから厳しくしましょう」「あなたは音大には行かないから楽しくやりましょう」というのは違うと思います。

池田 多分これからの世の中、ただ厳しいだけでも楽しいだけでも教育はうまくいかない。すると、教える方もその方法を考え直さなくては行けない。最終的には人間的な心のふれあいが感じられないと、生徒はついてはこないと思っています。

◆まず、自分のこと、
自分が思うことを話してみよう。
そうなると、技術や音楽知識以外に

「コミュニケーション能力」も求められてくると思いますが、特に若いキャリアの浅い先生はどうしたらよいのでしょうか？

さいとう 私も若い頃は、早くベテランになりたかつたんです。『若い子が何を言っておお！』って思われるんじゃないかと、思ってたんですけど、でも、「私は先生からはこういうふうにならなくていい」とか、「こんな話をしました。お宅はどうですか？」というように、自分の子どもの時の経験と絡めて話し、親の意見を聞くようにしていったことは結構役に立ちましたね。

池田 逆に、今の親御さん方もコミュニケーションが下手ですよ。上手そうに見えるのは上っ面だけだったりね。そして、先生に対してはすごく受け身。そうすると、どうしても先生の方が「こうですよ」と親子に教える立場になる。もちろん、音楽のことは教えますが、話し合えるようになるには、自分が思うこと、自分のことをまず相手に話してみようかな、と教えます。

例えば、「お宅のお子さんを教えてみて、私はこう感じていて、こういうふうにご指導してみたら〇〇でした」とか、「今度こういうことをやるから、今はこの課題を頑張らせてみようかと思いますが、どう思われますか？」と質問すると、いろいろ話して

して下さいませ。「おまかせします」という方ももちろんいますよ。でもそこであきらめないで、コミュニケーションをとってみてほしいと思います。

さいとう 講師時代には、「今日はこれとこれをしました」「この次はこういうふうにしていきます」「もうちょっと先にはこうしていきたいと思います」「このところだけすみません、お母さんお家で協力して下さい」という、レッスン終了時の話法の研修を何度もやりました。こうすると親と共同戦線が張れるわけです。共同戦線がうまく張れば、子どもをうまくリードしていくことができるんですよ。

◆ピアノがその子にとって大切なものになるために。

—— 読者にメッセージをお願いします。
さいとう いや、メッセージなんてとんでもないですけど(笑)……。ひとつ思うのは、先生方も今までピアノを続けていらしたのは、やっぱり夢を持っていらしたからだと思います。その夢をね、もっと生徒さんに語ってあげるといいと思うんですよ。「私は今まで音楽することに慣れてこうしてきたのよ」「ここまで続けてきたら、こんなにきれいな曲に出会ったのよ」「音楽ってこんなに素敵なものよ」とかね。ただ機械的に課題を与えるだけでは、子どもたちも何のためにピアノをやっているか分からなくなってしまうと思うんです。

それと、練習って本当に毎日のトレーニングの積み重ねですね。私自身も今も先生に師事しています。一日でも一ミリでも下がっていくのはいやなので。そして、それを生徒にも話すんです。すると、「先生も練習するんですか」と聞かれる。そして「そりゃそうよ。やらなければ自分も落ちていくの。あなたも努力しないようなら

に教わりたくないでしょ」とって言うと「ああそうか」とって。それで心が入れ替わるんですよ(笑)。

池田 ある方が「習い事をきちんとさせる」ということは、努力を積み重ねていくことで、自分自身が成長することを体で覚えさせることができる。だから厳しく習わせませう」と言われたことがあります。本当にそうだなと思います。

それから、生徒さん、あるいはその親御さん、本当にいろいろな人がいるけれど、先生は絶対に切り捨てないであげてほしい。最終的には教育者が責任を取らなくてはいけないんですから。重いんですけど。

その子なりにでいいと思うんですよ。例えば、文化的に豊かな国の人々は、理屈じやなく音楽の楽しみを知っている。誰の歌がいいとか、自分自身の楽しみの中に音楽が息づいている。日本でもそういうふうには音楽が単なるおけいごととか、自分のステイタスを上げるためのものではなく、自分にとつての必要なものになっていってほしいなと思いますね。また、そういうものになるようにアドバイスしてあげられる存在が先生かなと思います。

さいとう それから、先生たちも、教えるだけじゃなくて、生徒から何かを吸収しよう、と思ってみるのもよいのではないかと学ぶところはありますから。

池田 父兄から教わることもたくさんありますね。だから、若い先生なんかは自分が知らないところを虚勢を張る必要はなくて、「お母さん、そこは教えて下さい」と。キャリア的にも年齢的にも教わることは教わればいし、「これは自分が教えるんです」とっていうところは自信を持って教えられる。無理をしないことかな、と思います。

(完)

お母さんの心と向きあう

◆わが子をけつして寝めない。

タカシくんは一年生です。元気で明るい男の子ですが、いざとなると、自信をもつて何かに取り組むことが苦手です。たとえば、リトミックのレッスンで、お手本を示してもらおうとする、「できないもん！」を連発します。

でも、ほんとは、お友達の誰よりも上手にできているのです。それなのに自信がないのです。

なぜだろう……と考えました。何か原因があるはずだ……と思いました。そんな頃、生徒が一入すつ、私に演奏をきかせてくれる行事がありました。

タカシくんも、その行事に参加しました。タカシくんは、ていねいに心をこめて演奏してくれました。自分の出す音を耳でよききながら弾いていました。

一番すばらしかったのは、「この曲をこつ弾きたいんだ」といつ、タカシくんの強い意志が、きいている私にジンジンと伝わってきたことです。

演奏がいまにも終わろうとしたとき、恐ろしく気持ちがゆるんだのでしよう。タカシくんが、ちよつとまよって、弾きなおしました。

その瞬間、それまで冷静に見守っていたお母さんが、顔をしかめました。

タカシくんの演奏は、曲の終わりで小さな傷をちよつと残しはしましたが、それは演奏のすばらしさを、少しも傷つけるものではありませんでした。

第八回

江口 寿子

そもそも、ピアノストでさえ、完璧な演奏などめつたにできません。そこにまた、演奏の面白さがあるのです。

タカシくんは、ていねいにおじぎをしながら、チラッとお母さんの顔をうかがいました。お母さんの顔は、凍りついたように無表情です。怒っています。

私は、タカシくんを褒めました。「お耳でよききながら弾いていたわ。とてもきれいな音だったわよ！」

タカシくんが、恥ずかしそうに笑いました。横からお母さんがいいました。「家では、いいかげんな練習ばかりしております。もつと真剣に練習してほしいのですが……」

私がかた、タカシくんを褒めました。「タカシくんの音楽が、先生に伝わってきたわ。いつもきょうみたいに、曲のイメージをつくって、自分の音楽を表現してちょうだいね！」

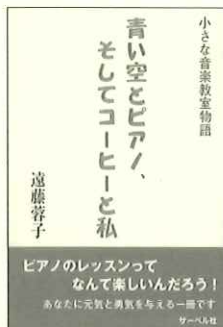
タカシくんが、コックリつなずきました。お母さんが、またいいました。「最後までまちがえたら、何にもなりません。ほんとに、だらしがありません」

私は、お母さんにお話しました。タカシくんの演奏はすばらしかったこと。演奏をきけば、毎日の真剣な練習のよつすがわかること。お母さんから褒めてあげてほしいこと。

お母さんは、「ありがとございませう」とおつしやいました。部屋を出ながらタカシくんに小声でいいました。「何やってるの、バカー」

2月の新刊&おすすめ本

おすすめの音楽書



●青い空とピアノ、そしてコーヒーと私 — 小さな音楽教室物語 —

「1才からのピアノレッスン」をはじめとするユニークなテキスト作りで知られる遠藤蓉子先生が、ご自身のホームページで公開されていた日記を一冊にまとめられた書。日々のレッスンやプライベート、そしてテキスト作りの舞台裏が淡々と綴られていきますが、その忙しくも楽しく充実した日常に触れることで、温かな元気をもらえる一冊です。

(遠藤蓉子 著 サーベル社 1800円 好評発売中)

●戦場のピアニスト

いよいよ今月公開の注目映画「戦場のピアニスト」の原作本。第二次世界大戦下、ナチスによる迫害から逃れ切ったユダヤ人ピアニストが自ら綴った真実の記録。
(W.シユビルマン 著 春秋社 1500円 2/上)

●CD-ROM 新編 音楽中辞典

昨年春に刊行され、好評を得ている「新編 音楽中辞典」のCD-ROM版が登場！ グルックひとつで関連項目へもひとつ飛び、項目ごとにプリントアウトも可能です。図版・譜例も多数収録。(音友 7600円 2/下)

* 教本・曲集 *

●初心者のためのアンポイント・ピアノ小曲集

キャロル・ミラー ピアノ・フィエスタ

「ピアノスポーツ」など、ユニークなピアノ教本でおなじみの著者による、初心者のためのピアノ小曲集。タッチやアーティキュレーション、ペダルの使用によってカラフルなピアノサウンドづくりを体験しましょう。(安田裕子 訳・解説 全音 1200円 2/下)

●ポップス 完全独習ピアノ入門 (模範演奏CD付)

バイエルや初心者向けにアレンジしたポピュラーやクラシックの名曲。技術習得のために作曲された練習曲、模範演奏CD等、さまざまな角度からピアノを楽しめるよう配慮された一冊。(林知行 編 ドレミ 2500円 2/下)

●ショパン/コルトー/八田 惲 パラード

これらは、祖国ポーランドの栄光と勇気を大胆に歌い上げた友人の詩から靈感を受けて書いたとされているそう。(全音 2500円 2/下)

●楽しくステップ・アップ

モダン・ジャズ・ピアノ・レッスンVol.2

ジャズ・ピアノに欠かせないテクニックやコツ、理論が楽しく身につく①巻の続編。更に深い理論のテクニックを追求したい方に。(中島久恵 編著 ドレミ 1600円 2/下)

●4手連弾 ピアソラ プエンスアイスの四季

ピアソラが晩年まで演奏し続け、訪れる季節の雰囲気を見事に表現した作品として有名な「プエンスアイスの四季」シリーズの4曲をピアノ連弾用に編曲。

(山本京子 編曲 音友 2200円 2/下)

●あのメロディーがすぐ弾ける

大人のらくらくピアノ2 1 (演奏ガイド付)

好評楽譜のリニューアル。臨時記号・加線音符・指使い・拍の数え方などの苦手部分には説明つき、ノーカットの「エリゼのために」や「シヨパンのノクターン Op.9-2」「ムーンリバー」「マイ・ウェイ」などが弾きやすいアレンジで収録されています。(千代田明子 編 1200円 2/下)

●楽しいピアノレッスン おとなのためのピアノ連弾曲集

メロディーが素敵な曲を中心に構成。【曲目】喜びの歌/アメイジング・グレイス/愛の喜び/モルダウ/ニュー・シネマ・パラダイス/他全30曲。(橋本晃一 編 ドレミ 1200円 2/上)

●おとなのためのピアノ曲集 余暇に楽しむ日本抒情歌集

国民歌謡・ラジオ民謡を中心に、やさしいアレンジで収録。【曲目】琵琶湖周航の歌/森の小径/みかんの花咲く丘/夏の思い出/他全36曲。(松山祐士 編 ドレミ 1500円 2/上)

●大人のためのピアノレッスン やさしく弾ける

～大人のための～テレビテーマ・コレクションII
I巻はシャボン玉ホリデーや太陽にほえるなど昭和30年代から50年代、II巻はヤン坊・マー坊天気予報などの、50年代以降の曲を収録。思わず口ずさみたくなるテーマ曲が満載！(ヤマハ 各1300円 2/下)

●ピアノ・ソロ CLASSICAL BEAUTY

クラシックの名曲からクラシカルなポップスまで。【曲目】アヴェ・マリア(シューベルト)/G線上のアリア/タイスの瞑想曲/カヴァティーナ/他全15曲。(シンコー 2000円 2/中)

* ヒット曲&TVテーマ曲 *

●ビース 地上の星/ヘッドライト・テールライト (中島みゆぎ) (kmp 500円 2/中)

●ミニアルバム COLORS (宇多田ヒカル) 待望の新作！(ヤマハ 600円 2/上)

●ビース 明日への扉 (I WISH) 「あいのり」主題歌。(ドレミ 500円 2/中)

●NHK連続テレビ小説「まんてん」オリジナル・ピアノソロ曲集 オリジナルサウンドトラックに加え、主題歌「この街」、挿入曲「満天島唄」も収録！ (川崎真弘 作曲 全音 1100円 2/下)

●ピアノ・ソロ 日本のラブ・ソングズ・ピアノ曲集 70年から90年代に至るまでのヒット曲の中から名曲を収録。(ドレミ 1600円 2/上)

●ピアノ・ソロ image③ imageの顔となったメンバーの楽曲はもちろん、日々潤いを与える、心に残るメロディーが満載！(ヤマハ 1700円 2/下)

●ハイグレード・ピアノ・ソロ アニメーション 大好評の上級者向け曲集。今回は少し大人向けのアニメーションの楽曲を収録。【曲目】風の谷のナウシカ/ルパン三世主題歌II/ピンクパンサーのテーマ/鉄腕アトム/他全21曲。(秋谷えりこ 編 シンコー 2000円 2/下)

※発売前の商品に関しては予定価格となっておりますので、発売後の価格が若干異なる場合がございます。また、品切の場合は何卒ご容赦下さいませ。